

アンカーボルト引張荷重検査機器

Anchor Pro Checker

取扱説明書

Ver.28.08



・機器を正しくお使い頂くために、ご使用前に・取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。
ご不明な点がございました際は、販売店および株式会社トラストまでご連絡ください。

 株式会社トラスト

目次

I. 安全にご使用いただくために	2
II. 構成	5
III. 概要	5
IV. 仕様	
1. 検査器仕様	6
2. ACアダプター・USBケーブル (付属品)	6
3. 寸法	7
V. 各部名称	
1. 本体	8
2. LCD表示パネルの詳細	8
3. 操作パネル	9
VI. 機能概要	
1. 本機の特長	10
2. 用途別、セッティング方法	10
3. PC編集ソフト「APC.NET.exe」設定操作概観	11
3-1) 本体及びPC設定機能	
3-2) PC設定機能	
4. PC編集ソフト「APC.NET.exe」出力操作概観	12
VII. 検査器本体操作	
1. 本体操作	13
1-1) 起動/停止	
1-2) メモリ件数の確認	
1-3) 設定内容の確認	
1-4) 設定内容の変更・選択	
1-5) 検査データの消去	
1-6) 【AUTOモード】の自動確定処理	
1-7) 荷重設定値・モードの変更	
2. 荷重設定値設定	18
2-1) 荷重設定値設定例	
2-2) モード設定例	
VIII. PC設定準備	
1. 対応OS	20
2. USBドライバーのインストール	20
3. PC編集ソフト「APC.NET」のインストール	21
4. 通信設定と接続方法	23
IX. PC編集ソフト「APC.NET.exe」操作	
1. メニューバー/ツールバーアイコンの説明	25
2. PC通信準備	26
2-1) ソフトウェアの実行/通信設定方法	
2-2) 接続通信の開始	
3. 設定操作	28
3-1) 本体設定内容の読み出し/設定	
3-2) 本体設定内容の書き込み	
3-3) メモリデータ消去	
4. 出力操作	32
4-1) 出力操作画面の呼び出し	
4-2) 確定検査荷重値のPC画面表示	
4-3) 検査器本体からの検査データの読み出し	
4-4) メモリデータ消去	
4-5) 検査データの保存	
4-6) 保存データの呼出し	
4-7) EXCELデータ転送	
X. 充電及び電池	
1. 充電方法	37
2. リチウム電池の寿命	38
3. スリープ機能・オートパワーオフ機能・充電推奨の警告	38
4. 使用済みリチウムイオン電池について	38

I. 安全にご使用いただくために

この度は、アンカープロチェッカー APCシリーズをお買い上げくださりまして、誠に有難うございます。本機器の機能を正しくお使いいただくために、ご使用前に本取扱い説明書をよくお読みの上、お使いください。取扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。ご不明な点がございました際は、販売店及び株式会社トラストまでご連絡ください。

PC編集ソフト「APC.NET.exe」をご使用いただく前に

PC編集ソフト「APC.NET.exe」のご使用に際し、以下のご使用条件をご了承いただいたものとさせていただきます。

✓ 免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置・接続機器・ソフトウェアの異常故障に対する障害、その他二次的な損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

✓ 本資料、製品仕様について

本製品の資料内容、製品仕様は予告なく変更することがありますので予めご了承ください。



本製品またはそのコピーを第三者へ譲渡・賃貸・その他の方法で使用されることは固くお断りさせていただきます。

当社は本資料に記載されている情報等の使用に関して、当社もしくは第三者が所有する知的財産権その他の権利に対する保証、実施、使用を許諾するものではありません。

本資料に記載されている情報等の使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、当社は一切その責任を負いません。

1. シグナルワード

シグナルワードは人に及ぼす危険の度合いにより、『危険』、『警告』、『注意』の区分があります。本機器をご使用前に本取扱い説明書に記載してあるシグナルワードをご理解いただき、正しい管理や安全操作を行ってください。

警告時のマーク	内容
 警告	従わないと取扱者の生命や身体に危害を及ぶ恐れがある注意事項。 必ずお読みください。
 注意	従わないと本機器を破損する恐れがある注意事項。 必ずお読みください。
使用上の注意	正しく使用するための注意事項。 必ずお読みください。

2. 警告

2-1) 本機器

- a) 本機器の分解改造の禁止。
安全性を損なったり、機能や性能、寿命低下、故障の原因となります。

2-2) 充電器および電池

- a) 専用の充電器及びリチウム電池をお使いください。
本取扱説明書に記載してある充電器及びリチウム電池以外は使用しないでください。
- b) 定格表示してある電源以外で使用しないでください。
異常発熱や火災の恐れがあります。
- c) 環境温度が0℃以下、40℃以上ではリチウム電池の充電はしないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
- d) 可燃性の液体や引火性ガスの発生する場所で充電はしないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- e) 換気の良い場所で充電を行ってください。
破裂や火災の恐れがあります。
- f) 充電器や本機器を布で覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
- g) 充電器のプラグは充電完了後電源から抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- h) 本機器、充電器および電池を火中に投入しないでください。
破裂や有害物質の出る恐れがあります。

2-3) 作業

- a) 本機器、充電器、電池は雨中で使用したり、湿った場所や濡れた場所、油で濡れた場所では使用しないでください。感電、発煙や故障の恐れがあります。
- b) 作業は十分に明るくして行ってください。
暗い場所での作業は事故の原因になります。
- c) 可燃性の液体や引火性ガスの発生する場所で使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- d) 高所での検査作業には落下防止策を行って下さい。
本機器、専用カプラを落下させると事故、けがや故障の原因になります。
- e) パイプなどを用いてグリップ部を延長して使用しないでください。
本機器の破損により事故、けがや故障又は精度異常の原因になります。
- f) 指定の付属品・オプション品以外は使用しないでください。
事故やけがの原因となります。
- g) 本体を振り回さないでください。
本機器の破損により事故、けがや故障又は精度異常の原因になります。
- h) 充電コードを差し込んだまま使用しないでください。
事故やけがの原因となります。

3. 注意

- 3-1) 本機器(故障を起こす原因に成り易い要因)
- 高温、多湿の場所、ほこりの多い場所、水や油が本機器の中に入る恐れのある場所、振動の激しい場所、不安定な場所での使用や保管はしないでください。
 - 本機器開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
 - 本機器に乗ったり、物を本機器の上に置かないでください。
 - 本機器を叩きつけたり、投げつけたりしないでください。
 - 強い磁気・強電界の近くには近づけないでください。
- 3-2) 充電器
- 本機器、充電器、電池を環境温度50°C以上に上がる場所に保管しないでください。充電器や電池の劣化原因になり、発火、発煙の恐れがあります。
 - 充電器のコードは無理な負荷をかけたり、無理な負荷をかけた状態で充電は行なわないでください。感電やショートが原因で発火する原因になります。
 - コードを持って運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱や油、角のとがったところに近づけないでください。
- 3-3) 作業(事故や怪我の原因に成り易い要因)
- この取扱説明書に記載されている用途以外には使用しないでください。事故や怪我の原因となります。
 - 安全に効率よく作業を行うために、能力にあった荷重値で作業してください。能力以上の作業は危険です。
 - 乱雑な場所や作業台で作業を行わないでください。
 - 作業者以外の者及び子供は作業中は近づけないでください。
 - 充電コードや通信用ケーブルを本機器へ接続時は作業者以外の者や子供を近づけないでください。コードやケーブルに引っかかり転倒する恐れがあります。
 - 無理な体勢や姿勢で作業を行わないでください。
 - グリップの握り部は油類が付かないように常にきれいで乾燥した状態を保ってください。
 - 保管場所は乾燥した場所で子供の手の届かない場または鍵のかかる場所に保管してください。

4. 使用上の注意

- 日常点検や校正を行った機器をお使いください。12ヶ月に一度の定期校正を推奨しております。
 - 使用前に本体ケースやその他の部品に損傷がないか十分に点検してください。
 - 使用前に本機器が正常に作動するかを確認してください。
 - 使用前に必ず無負荷状態である事を確認してから電源を入れてください。
 - 取り付け状態、その他作業に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか十分に確認を行ってください。
 - 本機器と専用カブラや先端治具は確実に嵌め合わせてお使いください。
 - 専用カブラや先端治具は亀裂や損傷がないことを確認の上、お使いください。
 - 雨中や水、油で濡れた環境でのご使用はしないでください。
 - 本機器をハンマー代わりに叩きつけたり、投げつけしないでください。
 - 整理整頓された作業環境でお使いください。
 - グリップ(握り部)は滑らない状態でお使いください。
 - グリップ(握り部)は滑らない状態で、有効長線部(力点部)を確実に握り、垂直に力が掛かるよう正しい検査作業を行ってください。
 - 必ず、検査器の許容する範囲内でお使いください。
 - LCD表示画面にマークが表示され、点滅したら充電するようお願い致します。電池残量が不足すると、規定電圧を確保できなくなり、測定データが初期化されます。
- ※ 異常を発見した場合、本機器の電源を切り、(株)トラスト(巻末の連絡先)へご連絡ください。

II. 構成

- 本体 1台
- 標準付属品
 - リチウム電池B-APC-01電池パック(本体内蔵) 1個
 - USBケーブル 1本
 - 充電アダプター(AC100V~240V 50/60Hz) 1個
- 高さ調整備品
 - ヘッド部高さ調整治具(5L) 1個
 - ヘッド部高さ変更用支持台(10L) 1個
 - ヘッド部高さ変更用支持台(20L) 1個
 - ヘッド交換用スパナ 3種
- インストールCD(PC編集ソフト・USBドライバ・取扱説明書) 1枚
- 校正証明書 1部
- オプション製品
 - 専用カブラ
 - 吊天井ボルト専用 交換ヘッド
 - 吊天井ボルト専用 先端治具
 - ヘッド部高さ変更用支持台(30L)
 - 防滴仕様(IPX6)

III. 概要

本機器は、『アンカーボルトの引張耐力』をリアルタイムにデジタル表示し、アンカーボルトが設計荷重値の規定を満たしているかを、点検・作業記録として管理・保存したい時のご利用に適しているアンカーボルト引張荷重検査機器です。

- アンカープロチェッカー APC-05



- アンカープロチェッカー APC-10



IV. 仕様

1. 検査器仕様

機能	型式	APC-05/10
測定精度		±4%+1digit
精度保証範囲		20%~100% (最大荷重値)
ピークホールド機能		検査時の最大値を保持
引張荷重設定機能		設定値/最大荷重値 (任意設定)
	単位	kN ※単位は固定
検査条件設定機能		10パターンまで設定可能。パターン設定時手動操作
メモリー機能		MEMOモード「有効/無効」選択 (最大6,000件)
検査開始時操作		AUTOモード「自動/確認」選択
省電力機能(スリープ状態)		スリープタイマー 5分/10分/30分/60分/OFF 選択
オートパワーオフ機能		オートパワーオフタイマー 1時間/4時間/8時間/OFF 選択
ブザー音設定		ON/OFF 選択
振動設定		ON/OFF 選択 設定値到達時 起動 最大荷重値超過時 断続起動(2秒間)/継続起動 選択
LCD表示機能		7セグメントLCD4桁表示
バーグラフ表示機能		20セグメントLCDバーグラフ
LED合否判定機能		設定値到達時 青色LED点灯 最大荷重値超過時 赤色LED点灯
検査条件設定機能		10パターンまで可能(パターン設定時手動操作)
データ出力機能		専用ソフトウェアに出力 リアルタイム表示機能 専用ソフトウェアで表示
ファイル変換機能		EXCELファイル
電源		充電式リチウム電池専用パック(充電回数 約500回可能)
連続使用時間		約16時間
充電方法		USBケーブル(PC/USB充電用ACアダプター)
充電時間		約3時間
カレンダー機能		PC設定日時をメモリー
通信仕様		USBコネクタ対応 (メモリーデータ転送用及びリアルタイムデータ転送用)
使用温度範囲(推奨温度)		0°C~40°C (15°C~30°C/結露不可)

2. ACアダプター・USBケーブル(付属品)

電源	AC100~240V、50/60Hz
定格出力	DC5V、500mA
使用温度	0°C~40°C
外径寸法(幅×高さ×奥行き)	36×18×46mm (突起部を除く)
アダプター重量(USBケーブル重量)	約26g (約53g)
USBケーブル長さ	約1.8m

※ USBバスパワーによる電源消費電流はMAX.350mAとなっております。

USBバスパワーの使用については、電源アダプター付きのUSBセルフパワーハブを前程としています。
直接PCIに接続される場合は、お客様にて問題が無いことをご確認のうえ、ご使用ください。

3. 寸法

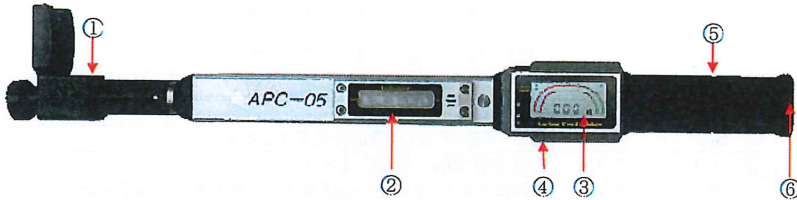


型式	荷重範囲	最小読取	対応サイズ	有効長	全長	重量
APC-05	1.00～5.00kN	0.01kN	M6～M12, W1/4～W1/2	460 mm	551 mm	※0.76 kg
APC-10	2.00～10.00kN	0.01kN	M10～M20, W3/8～W7/8	875 mm	965 mm	※1.65 kg

※交換ヘッドを除く重量

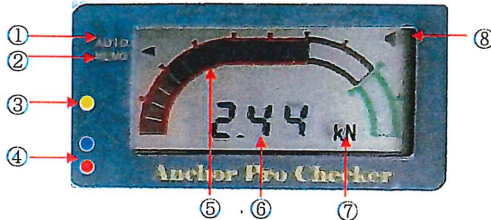
V. 各部名称

1. 本体



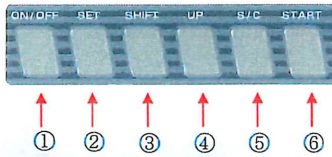
名称	内容
① 交換ヘッド	検査用ヘッド (着脱可能)
② インジケータ	段階警告/荷重設定値到達/載荷重過剰警告 カラー表示
③ LCD表示パネル	引張荷重値/引張実行バーグラフ表示 検査回数/検査管理回数表示 AUTOモード/MEMOモード/ブザー表示 測定ユニット表示/電池量残表示/LED表示
④ 操作パネル	各機能設定及び実行操作ボタン
⑤ 有効長線(力点)	正しい検査を行なうための、力点目安
⑥ USB接続/ 充電用ジャック	パソコン通信時の接続ジャック 付属USBケーブル/充電アダプターにて充電接続ジャック

2. LCD表示パネルの詳細



名称	内容
① AUTOモード選択	◀ 表示:オートモード
② MEMOモード選択	◀ 表示:メモリー有効 ◁ 非表示:メモリー無効
③ 充電表示用LED	黄色LED点灯:充電実行時
④ 設定値到達 合否判定LED	青色LED点灯:設定値到達時 赤色LED点灯:最大設定値超過時
⑤ バーグラフ	赤:荷重設定値に対し、20%~80%までの目安 茶:荷重設定値に対し、80%~100%までの目安 緑:荷重設定値に対し、100%~最大荷重値までの目安
⑥ 数値表示	引張荷重値
⑦ 単位表示	「kN」(キロニュートン)表示
⑧ ブザー音	🔊 表示時:ON、🔊 非表示時:OFF

3. 操作パネル



名称	内容	
① ON/OFF ボタン	電源をON/OFFするボタン	
② SET ボタン	各モード選択 及び 設定を確定するボタン	
③ SHIFT ボタン	設定変更箇所へ移動するボタン	
④ UP ボタン	本体にメモリーされている検査データ数を表示するボタン 各モード変更 及び 設定数値を変更するボタン	
⑤ S/C ボタン	設定済パターンへの切替	
⑥ START ボタン	処理を開始する 及び 処理を確定するボタン	

VI. 機能概要

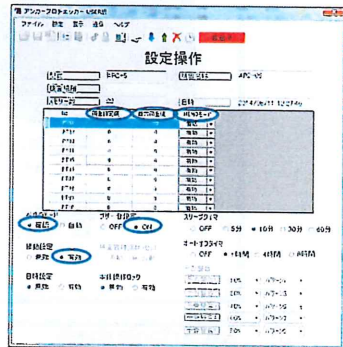
1. 本機の特長

- ① 点検所要時間10秒(カブラ装着後)
- ② 日時・検査データを、最大6,000件までメモリー可能
- ③ 3つの体感「色・音・振動」
インジケーターの色表示、段階毎に音階の変わるブザー音、ハンドル部に搭載の
バイブレーションにより、引張荷重値の点検状況が数字を見なくても判別可能

2. 用途別、セッティング方法

2-1) 検査モード

- 1) 「荷重設定値」……確認荷重値
- 2) 「最大荷重値」……荷重値超過上限値
- 3) 「MEMOモード」……<有効>
- 4) 「AUTOモード」……<確認>(手動リセット)
- 5) 「ブザー音設定」……<ON>
- 6) 「振動設定」……<有効>

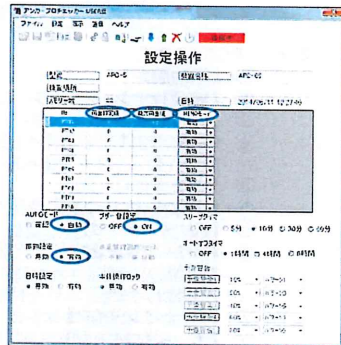


【動作フロー】

- 1) 荷重を掛ける……荷重設定値到達で「ブザー音」
- 2) 1)内で掛かった最大の「荷重値」を表示／記録……力を緩める
- 3) 「START」ボタンで表示をリセット……次の作業へ

2-2) 連続検査モード

- 1) 「荷重設定値」……確認荷重値
- 2) 「最大荷重値」……荷重値超過上限値
- 3) 「MEMOモード」……<有効>
- 4) 「AUTOモード」……<自動>
- 5) 「ブザー音設定」……<ON>
- 6) 「振動設定」……<有効>



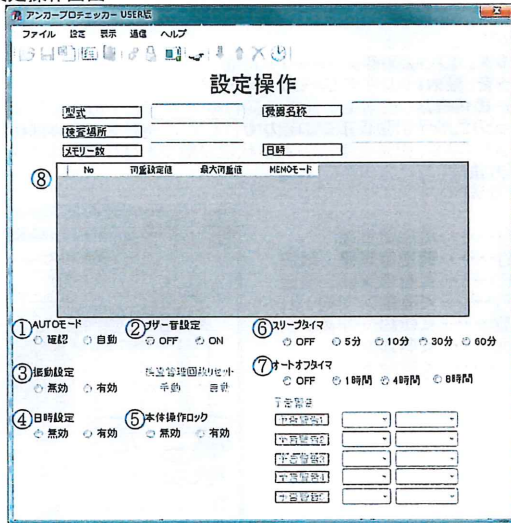
【動作フロー】

- 1) 荷重を掛ける……荷重設定値到達で「ブザー音」……力を緩める
- 2) 1)内で掛かった最大の「荷重値」を表示／記録
- 3) 自動的にリセットされ、初期値「0.00」表示に戻る

- 注記
- ・ 本体設定は「第七章 検査器本体操作」を参照ください
 - ・ PC設定は「第IX章 PC編集ソフト「APC.NET.exe」操作」を参照ください

3. PC編集ソフト「APC.NET.exe」設定操作概要

● 設定操作画面



3-1) 本体及びPC設定機能

① 【AUTOモード】

検査完了後、引張荷重を弱めて無負荷状態に戻した状態から、次の検査への移行を、自動もしくは手動で行なうかを選択できます。

② 【ブザー音設定】

ブザー音のON/OFFを選択できます

3-2) PC設定機能

③ 【振動設定】

バイブレーションモーターの有効/無効を選択できます

④ 【日時設定】

PCの日時情報を本体へ記憶させ、引張荷重値を日時情報で管理することができます

⑤ 【本体操作ロック】

検査器本体での設定変更の有効/無効を選択できます(※制約があります)

⑥ 【スリープタイム】

静止状態で設定された時間を経過すると、自動的にスリープ状態(省電力モード)に切り替わります。

再起動は検査器本体を持ち上げるだけで、ボタン操作などは必要ありません。

⑦ 【オートオフタイム】

スリープ状態から設定された時間を経過すると、自動的に電源をOFFします。(スリープタイムを「OFF」設定時は、静止状態から設定された時間を超過すると、自動的に電源をOFFします。)

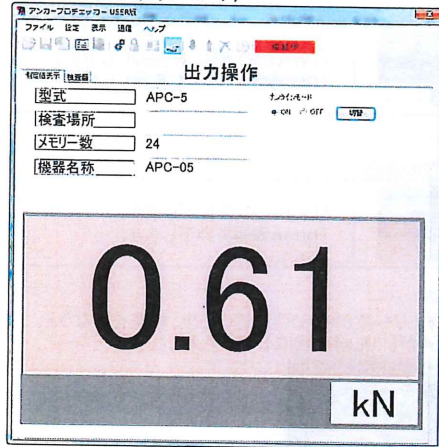
⑧ 【複数荷重設定値設定機能】

荷重設定値が複数種類ある場合、最大10パターンまで荷重設定値・最大荷重値を設定できます。(※但し【AUTO】モードの設定は「確認」のみとなります)

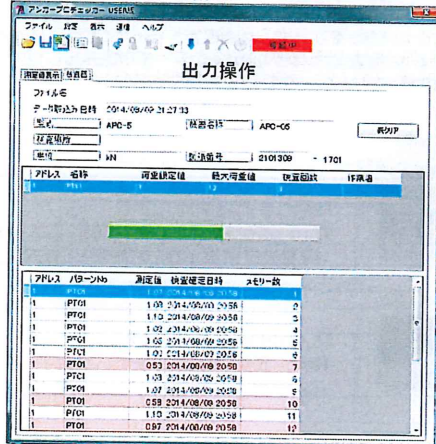
4. PC編集ソフト「APC.NET.exe」出力操作概要

- ①【メモリーデータ表示機能】
PC表示画面のフォーマットに最大6,000件のメモリーデータを表示できる機能です
- ②【オンラインモード】
引張荷重値をリアルタイムでPC画面に表示できる機能です
- ③【データ転送機能】
データをEXCELファイルへ転送できる機能です

●出力操作画面 (オンラインモード)



●出力操作画面 (データ転送機能)

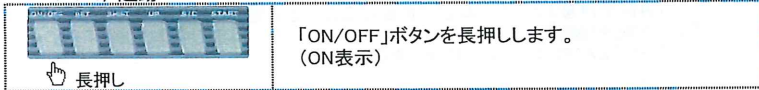


VII. 検査器本体操作

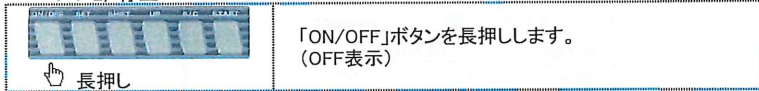
1. 本体操作方法

1-1) 起動/停止

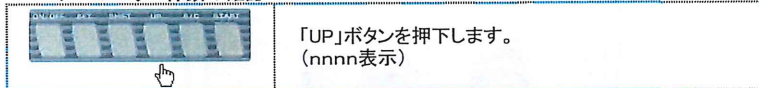
1-1-1) 起動



1-1-2) 停止



1-2) メモリー件数の確認



1-2-1) メモリーオーバー

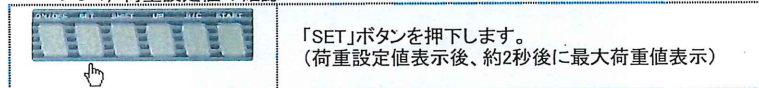
検査データのメモリー数が6,000件に達した後、検査を行なうと、LCD表示パネルが【FULL】表示になります。



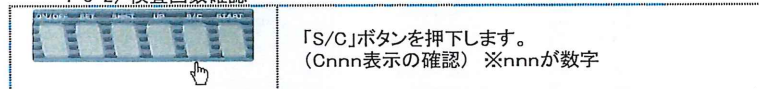
※必要に応じて内部メモリーデータの保存を行ってください。
(「第Ⅲ章 4-3) 検査器本体からの検査データの読み出し」を参照ください)
その後、内部メモリーデータの消去を行なってください。
(「第Ⅲ章 4-4) メモリーデータ消去」を参照ください)

1-3) 設定内容の確認

1-3-1) 荷重設定値の確認



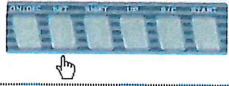


1-3-2) 検査回数確認



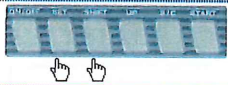

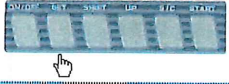
1-3-3) パターン(PT)設定の確認

※複数パターンが登録されている場合のみ

	「SHIFT」+「SET」ボタンを押下します。 (PT.No表示)
	「UP」ボタンを押下します。 (PT表示→荷重設定値→最大荷重値→検査回数管理→)
	「SET」ボタンで終了します。


1-4) 設定内容の変更・選択

1-4-1) 設定済パターン(PT)の変更・選択


	「SHIFT」+「SET」ボタンを押下します。 (PT.No表示)
	「S/C」ボタンでパターンの変更。 (PT01→PT02→PT03→PT04→PT05→ PT06→PT07→PT08→PT09→PT10→PT01…)
	「SET」ボタンで選択しているPT.No.に設定されます。

1-5) 検査データの消去


1-5-1) 直前の検査データの消去

	「SHIFT」+「S/C」ボタンを押下します。 (操作完了音+保存件数表示)
--	---

1-5-2) 検査データの全消去

	一旦、電源をOFFにしてください。 「S/C」+「ON/OFF」ボタンを押下します。 内蔵保存された検査データをすべて消去します。 (電源ON時にCLR表示)
---	--

1-6) 【AUTOモード】の自動確定処理



	【AUTOモード】を【確認】に設定している場合は、 検査完了後「START」ボタンを押下します。 次の検査へ移行することができます。
---	--

1-7) 荷重設定値・モードの変更





お買い上げいただいた時は、検査器の精度保証範囲の最小値と最大値が設定されています。

<荷重設定値変更における制約条件>



- PC編集ソフト「APC.NET.exe」にてPT設定が2つ以上を設定されている場合は、検査器本体での荷重設定値の変更はできません。
- 検査器本体にて荷重設定値変更が行えるのはPT設定が1つのみの場合に限りです。PT設定が2つ以上の際は、PC編集ソフト「APC.NET.exe」で設定変更を行ないます。
- 検査器本体に検査データが残っている場合は設定内容の変更は出来ません。あらかじめ、検査データをすべて消去してください。(1-5-2)参照

 <p>長押し</p>	「SET」ボタンを長押しします。
	LOD表示パネル部で荷重設定値の小数点第2位が点滅します。




1-7-1) 荷重設定値設定

	「UP」ボタンで数値の変更。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0→...)
	「SHIFT」ボタンで4桁目から1桁目まで切替え。
	①②③④ 桁目
	「SET」ボタンで確定。




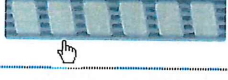
※注意事項

	荷重設定値を変更する際、元の最大荷重値を上回る数値には設定できません。 例) 元値: 荷重設定値・2kN 最大荷重値・3kN 新値: 荷重設定値・4kN 最大荷重値・5kN
	「SET」ボタンを押しても確定せず、選択桁が点滅したままになります。
	この場合は、先に最大荷重値の設定を行ってから、荷重設定値の変更を行ってください。

1-7-2) 最大荷重値設定

	<p>「UP」ボタンで数値の変更。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0→…)</p>
	<p>「SHIFT」ボタンで1桁目から4桁目を切替え。</p>
	<p>「SET」ボタンで確定。</p>

1-7-3) モード設定

	<p>「SHIFT」ボタンで、AUTOモード、MEMOモード、 ↓  ブザー音設定の切替え。</p>
	<p>「UP」ボタンで設定の変更。 AUTO : ◀ 連続測定 ⇔ ▶ 非連続測定 (【自動】) (【確認】) MEMO : ◀ メモリー有効 ⇔ ▶ メモリー無効 ※MEMO設定は、必ず「有効」にしてください ブザー音 : ↓ ブザー有効 ⇔ ↓ ブザー無効</p>
	<p>「SET」ボタンで確定。</p>

2. 荷重設定値設定

2-1) 荷重設定値設定例

荷重設定値: 4.00kNと最大荷重値: 5.00kNを設定する場合

表示	ボタン操作	操作説明
荷重設定値 設定 	 長押し	①「SET」ボタンを長押しします。 ②セットアップモードに入ります。 ③バーグラフの赤ラインの枠内に黒いバーが表示されます。 ④荷重設定値が点滅します。
	 ①「SHIFT」ボタンで変更箇所へ移動します。	①「SET」ボタンで変更箇所へ移動します。
	 ① 変更する数値“4”になるまで「UP」ボタンを押下します。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0...)	① 変更する数値“4”になるまで「UP」ボタンを押下します。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0...)
	 ①「SET」ボタンを押し、確定します。 ② 荷重設定値の設定完了です。 →【最大荷重値 設定】へ	①「SET」ボタンを押し、確定します。 ② 荷重設定値の設定完了です。 →【最大荷重値 設定】へ
最大荷重値 設定 		① バーグラフの緑ラインの枠内に黒いバーが表示されます。 ② 最大荷重値が点滅します。
	 ①「SHIFT」ボタンで変更箇所へ移動します。	①「SHIFT」ボタンで変更箇所へ移動します。
	 ① 変更する数値“5”になるまで「UP」ボタンを押下します。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0...)	① 変更する数値“5”になるまで「UP」ボタンを押下します。 (0→1→2→3→4→5→6→7→8→9→0...)
	 ①「SET」ボタンを押し、確定します。 ② 最大荷重値の設定完了です。 →【AUTOモード設定】へ	①「SET」ボタンを押し、確定します。 ② 最大荷重値の設定完了です。 →【AUTOモード設定】へ

2-2) モード設定例

【AUTOモード設定】

AUTOモードは自動(オートモード)と確認(マニュアルモード)を選択することができます。

●自動(オートモード)

検査完了時、加力を無負荷状態(0.00kN)まで弱めた時に自動で検査データを保存(ブザー音が鳴る)されます。







検査初期状態(次の検査を開始する)に、自動的に移行します。

●確認(マニュアルモード)

検査完了時、加力を弱めた時にデータを保存(ブザー音が鳴る)し、検査データの表示を最大値保持します。

検査初期状態(次の検査を開始する)に戻すには、「START」ボタンを押します。

【AUTOモード】切替

表示	ボタン操作	操作説明
		① AUTO表記部の◀ が点滅します。 ◀ 表示: オートモード ◁ 表示: マニュアルモード
		① 「UP」ボタンを1回押す毎に、オートモードとマニュアルモードが切り替わります。
		① 「SHIFT」ボタンを押し、確定します。 ② AUTOモードの設定完了です。 →【MEMOモード設定】へ

【MEMOモード設定】

MEMOモードはメモリーの有効と無効を選択することができます。

●有効






内蔵されたマイコンに、最大8,000件の検査データ及び日時情報を記録することができます。

PC編集ソフト「HTW.NET」を利用することにより、検査荷重データの管理/運用が可能になります

●無効

内蔵されたマイコンに、検査データ及び日時情報は記録されません。

【MEMOモード】切替

表示	ボタン操作	操作説明
		① MEMO表記部の◀ が点滅します。 ◀ 表示: オートモード ◁ 表示: マニュアルモード
		① 「UP」ボタンを1回押す毎に、有効と無効が切り替わります。
		① 「SET」ボタンを押し、確定します。 ② MEMOモードの設定完了です。 →【ブザー音設定】へ

【ブザー音設定】

ブザー音設定はブザー音のON/OFFを選択することができます



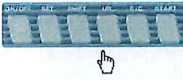

●ON

荷重設定値到達時/本体⇄PC通信時/電池残量警告時にブザー音でお知らせします。

●OFF

荷重設定値到達時/本体⇄PC通信時/電池残量警告時にブザー音は鳴りません。

【ブザー音設定】切替

表示	ボタン操作	操作説明
		①ブザー音表記部の「  」が点滅します。 ↓ 表示:ON ↓ 表示:OFF
		①「UP」ボタンを1回押す毎に、ONとOFFが切り替わります。
		①「SET」ボタンを押し、確定します。 ②「SHIFT」ボタンを押すと、AUTOモード設定に戻ります。 ③ブザー音の設定完了です。

VIII. PC編集ソフト「APC.NET」

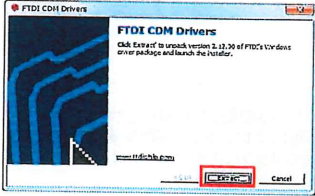
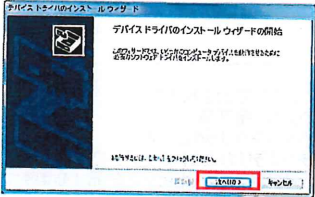
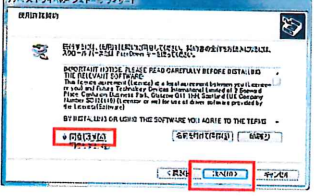
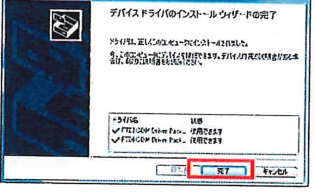
1. 対応OS

Microsoft Windows 7 (32ビット, 64ビット)
Microsoft Windows 10 (32ビット, 64ビット)

Microsoft Windows 8.1 (32ビット, 64ビット)

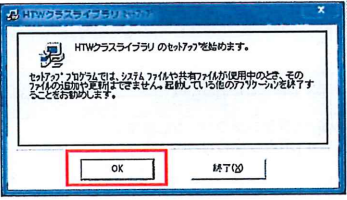
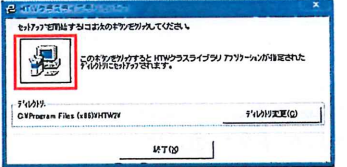
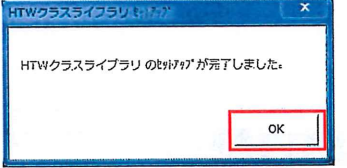
2. USBドライバーのインストール


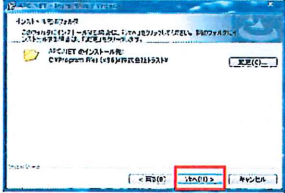
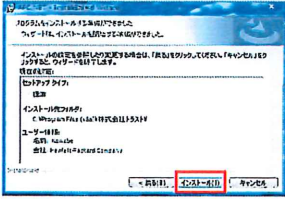
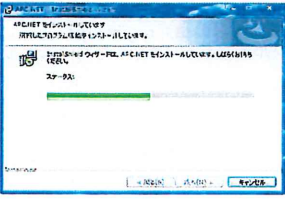
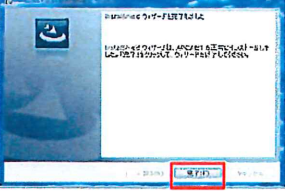
- ① 付属のインストールCDを挿入してください。
- ② <USB Driver>フォルダ内の『CDM v2.12.10 WHQL Certified_ReleaseDate_201*-**-*-*. Exe』を実行してください。
- ③ PCの表示に従いセットアップを行ってください。

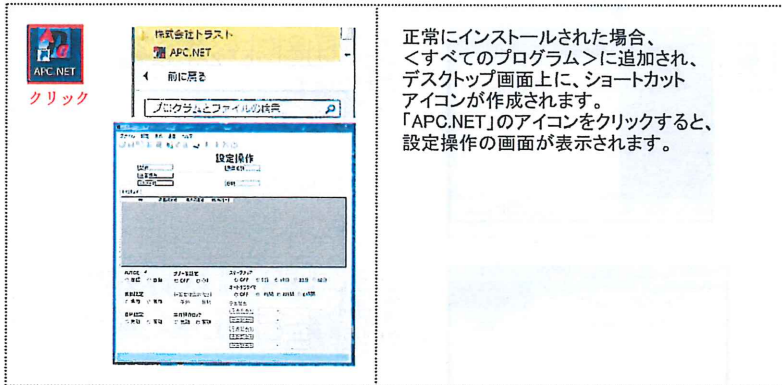
表示	操作説明
	<p>「Extract」ボタンをクリックします。</p>
	<p>「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>「同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>インストールが完了しました。「完了」ボタンをクリックします。</p>

3. PC編集ソフト「APC.NET」のインストール

- ① 付属のインストールCDを挿入してください。
 - ② 「HTWclasslibrary」フォルダー内の「setup.exe」プログラムを実行します。
 - ③ PCの表示に従いセットアップを開始します。
 - ④ 「APC.NET」フォルダー内の「setup.exe」プログラムを実行します。
 - ⑤ PCの表示に従いセットアップを開始します。
- ※インストールは、必ずネットワークに接続できる環境で行なってください。

表示	操作説明
	<p>「HTWクラスライブラリ」のセットアップをクリックすると、ライブラリのセットアップ画面が立ち上がります。</p> <p>「OK」ボタンをクリックし、続行します。</p>
	<p>ディレクトリの変更がない場合は表示画面に従い、「PCアイコン」のボタンをクリックします。</p>
	<p>セットアップが開始されます。</p> <p>セットアップの完了時、「OK」ボタンをクリックします。</p> <p>クラスライブラリのセットアップが完了します。</p>

表示	操作説明
	<p>「APC.NET」のセットアップをクリックすると、インストール ウィザード画面が立ち上がります。 「次へ」ボタンをクリックします。</p>
	<p>インストール先のフォルダを決める画面になります。 場所に変更がなければ、「次へ」ボタンをクリックします。</p> <p>インストール先を変更したい場合は、『変更』ボタンをクリックし、インストール先フォルダを指定してください。</p>
	<p>「APC.NET」のインストール画面が立ち上がります。</p> <p>セキュリティの警告が出た際は、構わず「インストール」ボタンをクリックしてください。</p>
	<p>「APC.NET」のインストールが実行されます。しばらくお待ちください。</p>
	<p>「APC.NET」のインストールが完了の表示が出ます。 「完了」ボタンをクリックしてください。</p>

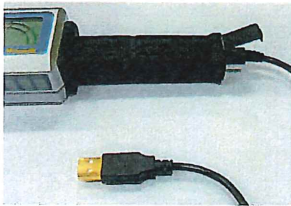


4. 通信設定と接続方法

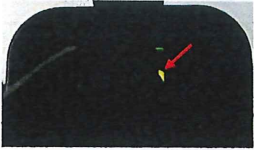
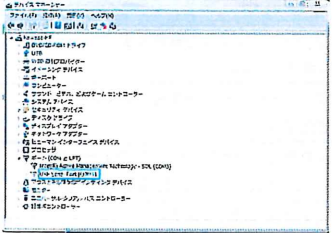
- ① 検査器本体とパソコンをUSBケーブルで接続します。
- ② 通信条件を以下に設定します。(通常、変更する必要はありません)

設定項目	有線通信
ボーレート	19200bps
データビット	8
パリティビット	Even
ストップビット	1
フロー制御	なし

<有線接続／通信>

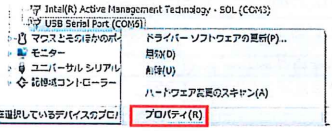
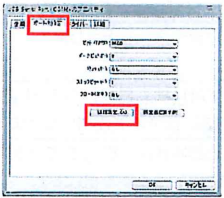
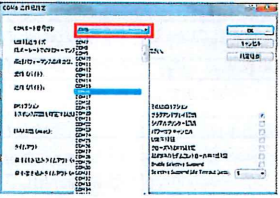


PCと検査器本体をUSBケーブルで接続します。
本体を電源ONの状態にします。
(ケーブル接続前後どちらでも構いません)

表示	操作説明
	<p>APCとパソコンを接続します。 自動的に認識します。 (認識に、若干の時間を要します)</p> <p>認識されると、APC側のケーブル接続部が 緑色に点灯します。</p>
	<p>COM番号の確認 【デバイスマネージャー】の 【ポート(COMとLPT)】に 「USB Serial Port (COMn)」が表示され ます。</p>

ポイント

COM番号が16以下の<1~16>であればOKです。
16以上であれば、下記手順にてCOM番号を16以下に変更してください。

	<p><COM番号の変更方法> 該当するCOM番号を「右クリック」「プロパティ」をクリックし、プロパティ画面を表示します。</p>
	<p>プロパティ画面の「ポートの設定」を選択、「詳細設定」ボタンをクリックし、【COM** 詳細設定】を表示させます。</p>
	<p><COMポート番号>で『16番』以下の番号を選択し、『OK』ボタンをクリックして終了です。</p>

IX. PC編集ソフト「APC.NET.exe」操作

1. メニューバー／ツールバーアイコンの説明

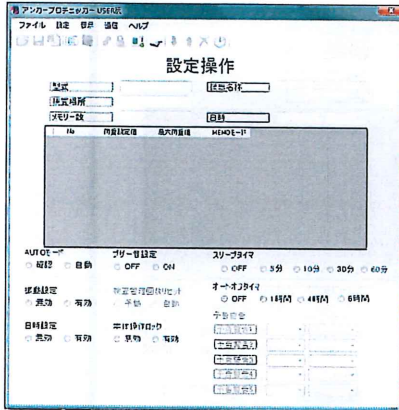
上段:メニューバー 下段:ツールバーアイコン	機能詳細説明
[ファイル] → [開く] 「開く」アイコン	出力データファイルを開きます。 (拡張子:「. dat」)
[ファイル] → [保存] 「名前を付けて保存」アイコン	出力データファイルを保存します。 (拡張子:「. dat」)
[ファイル] → [EXCELに転送] 「EXCELデータ転送」アイコン	「出力操作」で出力された測定値データをEXCELに転送します。(拡張子:「. exl」)
[ファイル] → [終了] — (該当アイコンなし)	プログラムを終了します。
[設定] → [通信設定] 「通信設定」アイコン	PC接続ポートの設定を行います。
[設定] → [オプション] 「オプション設定」アイコン	「出力操作」の設定を行いません。 ※USER版ではご使用になれません。
[設定] → [システム時刻読み込み] 「システム時刻」アイコン	PCIに設定されている日時情報を読み込みます。
[表示] → [設定操作] 「設定操作」アイコン	設定操作画面を表示します。
[表示] → [保守操作] 「保守操作」アイコン	保守操作画面を表示します。 ※USER版ではご使用になれません。
[表示] → [出力操作] 「出力操作」アイコン	出力操作画面を表示します。
[通信] → [モード切替] — (該当アイコンなし)	設定時に検査器本体のモードを切替えます。 ※USER版ではご使用になれません。
[通信] → [データ読み出し] 「設定データ読み出し」アイコン	検査器本体にメモリされている設定及びメモリデータを読み出します。
[通信] → [データ書き込み] 「データ書き込み」アイコン	ソフト上で設定した内容を検査器本体に書き込みます。
[通信] → [メモリ消去] 「メモリデータ消去」アイコン	検査器本体のメモリデータを消去します。 (設定変更時にはデータ消去が必須です。)
[通信] → [接続] 「有線接続」アイコン	通信を開始します。
[通信] → [メモリデータ6000件 強制読み出し] +「Ctrl」キー	検査器本体にメモリされている設定及びメモリデータ6000件分を強制読み出します。
[ヘルプ] → [バージョン情報] — (該当アイコンなし)	アンカープロチェッカーPC編集ソフトのソフトウェアバージョン情報を表示します。

2. PC通信準備

2-1) ソフトウェアの実行/通信設定方法

インストール済の「APC.NET.exe」を起動します。

● APC.NET 起動時画面



● 「通信設定」画面

	<p>① [メニューバー] → 「設定」→「通信設定」 または 「通信設定」アイコンから 通信設定画面を 開きます。</p>
	<p>② USBケーブルに割り当てられたポートを選択し、設定ボタンをクリックします。</p> <p>※ポート選択に何も表示がされない場合は、本体の電源が入っているか、USB認識が完了しているかを確認してください。</p>

ポイント プルダウンメニューに「COM番号」が表示されないときは、Windowsのデバイスマネージャーで確認してください。


2-2) 接続通信の開始

「設定操作」画面に戻ります。

<通信開始>

- [メニューバー] → 「通信」 → 「接続」

または

- 「有線接続」アイコン  をクリック

すると、ツールバーに「接続中」が表示され、本体に保存されている設定データを読み込みます。

接続中

3. 設定操作

3-1) 本体設定内容の読み出し/設定

[メニューバー] → [通信] → [データ読み出し] または
 ↓ 「設定データ読み出し」アイコンをクリックし、
 検査器本体の設定を読み出します。
 (ブザー音が鳴ります。)

本体設定を、任意の設定に変更してください。

● 設定操作画面

設定操作

型式 APC-5 機種名 APC-05

検査場所

メモリー数 0 日時 2016/08/02 9:23:12

No	同量設定値	最大同量値	MEMOモード
PT01	0	0	有効
PT02	0	0	有効
PT03	0	0	有効
PT04	0	0	有効
PT05	0	0	有効
PT06	0	0	有効
PT07	0	0	有効
PT08	0	0	有効
PT09	0	0	有効
PT10	0	0	有効

AUTOモード: 確認 自動 OFF ON

ブザー音設定: OFF 5分 10分 30分 60分

スリープタイマ: OFF 1時間 4時間 8時間

オートオフタイマ: OFF 1時間 4時間 8時間

手番警告

手番警告1: 10% ハターン1

手番警告2: 20% ハターン2

手番警告3: 40% ハターン3

手番警告4: 60% ハターン4

手番警告5: 80% ハターン5

Ⓐ 検査器本体情報部

Ⓑ 荷重値設定部

Ⓒ モード設定部

<A: 検査器本体情報部>

検査器本体の情報を設定できます。

型式	APC-5	機器名称	APC-05
検査場所			
メモリ数	0	日時	2016/08/02 9:23:12

①【型式】

検査器本体の型式が表示されます。

②【機器名称】

設定された検査器名称が表示されます。

③【検査場所】


設定条件毎に固有の名称を設定できます。(半角英数8文字以内)

④【メモリ数】

検査器本体にメモリされている検査データ数を表示します。

⑥【日時】

検査器の日時データが表示されます

 「システム時刻」アイコンをクリックすると、PCの日時情報を所得します。

<B: パターン設定部>

検査器本体に最大10通り(PT01~PT10)までの荷重設定パターンを設定できます。

No	荷重設定値	最大荷重値	MEMOモード
PT01	1	1.2	有効
PT02	0	0	有効
PT03	0	0	有効
PT04	0	0	有効
PT05	0	0	有効
PT06	0	0	有効
PT07	0	0	有効
PT08	0	0	有効
PT09	0	0	有効
PT10	0	0	有効

各パターンのセルを選択すると、以下のようなウィンドウが表示されます。
設定値を入力後、「OK」を選択して下さい。

パターン1設定		
荷重設定値	最大荷重値	MEMOモード
<input type="text" value="1"/>	<input type="text" value="1.2"/>	有効
OK		キャンセル

①【荷重設定値】

測定範囲内で、任意の荷重設定値を入力してください。

②【最大荷重値】

検査範囲中の任意の最大荷重値を入力してください。

<C:モード設定部>

AUTOモード		ブザー音設定		スリープタイム	
<input type="radio"/> 確認	<input checked="" type="radio"/> 自動	<input type="radio"/> OFF	<input checked="" type="radio"/> ON	<input type="radio"/> OFF	<input type="radio"/> 5分 <input checked="" type="radio"/> 10分 <input type="radio"/> 30分 <input type="radio"/> 60分
振動設定		検査管理回数リセット		オートオフタイム	
<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効	<input type="radio"/> 手動	<input checked="" type="radio"/> 自動	<input type="radio"/> OFF	<input checked="" type="radio"/> 1時間 <input type="radio"/> 4時間 <input type="radio"/> 8時間
日時設定		本体操作ロック		予告警告	
<input type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効	予告警告1	10% ▾ ハウ-ン1 ▾
				予告警告2	20% ▾ ハウ-ン3 ▾
				予告警告3	40% ▾ ハウ-ン5 ▾
				予告警告4	60% ▾ ハウ-ン7 ▾
				予告警告5	80% ▾ ハウ-ン9 ▾

①【AUTOモード】

確認:各個モード(検査完了後、次の作業へ移るには確定操作が必要です。)
自動:連続モード(検査完了後、自動で次の作業へ移れます。)

②【ブザー音設定】

OFF:ブザー音は鳴りません。
ON:ブザー音でお知らせします。
ブザー音設定対象:設定値到達時/本体⇔PC通信時/電池残量警告時

③【振動設定】

無効:設定値・最大設定値到達時にバイブレーションは起動しません。
有効:設定値・最大設定値到達時にバイブレーションにてお知らせします。

④【検査管理回数リセット】

※USER版では本設定の変更はできません。

⑤【日時設定】

無効:検査器本体の日時情報を維持します。
有効:現在のPCの日時情報を検査器本体に上書きします。
(日時情報の取得は「システム時刻」アイコンをクリックしてください。)

⑥【本体操作ロック】

無効:検査器本体で荷重設定値・モード設定の変更が可能になります。
(※検査器本体での設定変更には制約があります。
詳細は「VII. 1-7) 荷重設定値・モードの変更」をご参照ください。)
有効:検査器本体で荷重設定値・モード設定の変更を禁止します。

⑦【スリープタイム】

OFF/5分/10分/30分/60分
静止状態で設定された時間を経過すると、自動的にスリープ状態(省電力モード)に切り替わります。
再起動は検査器本体を持ち上げるだけで、ボタン操作などは必要ありません。

⑧【オートオフタイム】

OFF/1時間/4時間/8時間
スリープ状態から設定された時間を経過すると、自動的に電源をOFFします。
(スリープタイムを「OFF」設定時は、静止状態から設定された時間を超過すると、自動的に電源をOFFします。)

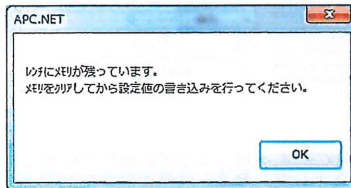
⑨【予告警告】

※USER版では本設定の変更はできません。
(インジケータ部:白LEDの表示個数段階を設定しています)

3-2) 本体設定内容の書き込み

[メニューバー] → [通信] → [データ書き込み] または
 ▲ 「データ書き込み」アイコンをクリックし、
 PCにて入力した設定を検査器本体へ書き込みます。
 (ブザー音が鳴ります。)

※この時、検査器本体に検査データが残っていると、メッセージボックスが表示され、設定変更は行えません。



この場合は、下記「3-3) メモリデータ消去」にしたがって、検査器本体の検査データを消去してください。

※なお、一度消去した検査データは、復旧させることができませんので、検査データを残された場合は、「出力操作」にて検査データを読み出し、保存を実施してください。

3-3) メモリデータ消去

[メニューバー] → [通信] → [メモリ消去] または
 ✕ 「メモリ消去」アイコンをクリックし、
 検査器本体に保存されている検査データを全削除します。
 (ブザー音が鳴ります。)


※クリック後、即時にデータは消去されますので、ご注意ください。

4. 出力操作

4-1) 出力操作画面の呼び出し

「APC.NET.exe」起動時は、「設定操作」画面が表示されます。

[メニューバー] → [表示] → [出力操作] または

 「出力操作」アイコンをクリックし、
出力操作画面に切り替えます。

● 出力操作画面 - 「測定値表示」タブ



①【型式】

検査器本体の型式が表示されます。

②【検査場所】

設定されている固有の名称が表示されます。

③【メモリー数】

検査器本体にメモリーされている検査データ数を表示します。

④【機器名称】

設定された検査器名称が表示されます。

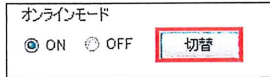
⑤【オンラインモード】

ON: 検査荷重値の経過を、リアルタイムで表示します。

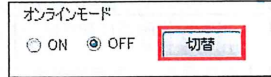
OFF: 検査完了後に、確定した検査荷重値を表示します。

4-2) 確定検査荷重値のPC画面表示

- 【オンラインモード】の切替
表示モードを選択し、「切替」ボタンを押して切り替えます。(初期モード:OFF)



《検査荷重値リアルタイム表示》

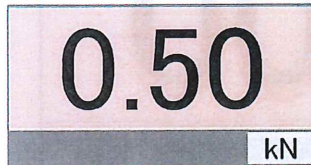


《確定検査荷重値表示》

- 確定検査荷重値の表示
検査完了時、確定した検査荷重値を表示します。
この時、荷重設定値を満たしていない検査結果の場合、
背景は赤色で表示されます。



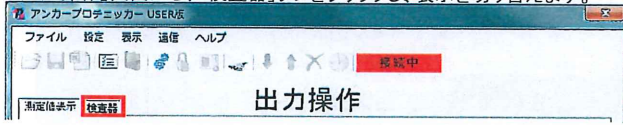
《荷重設定値以上》



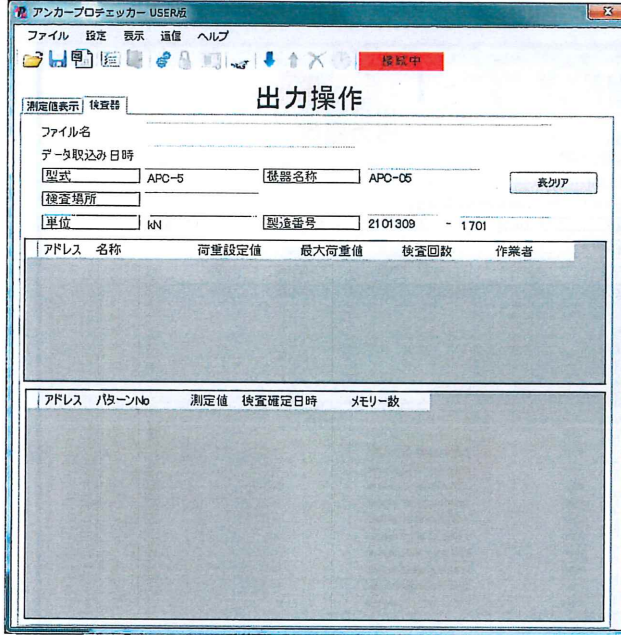
《荷重設定値未満》

4-3) 検査器本体からの検査データの読み出し

「出力操作」画面から、「検査器」タブをクリックし、表示を切り替えます。



● 出力操作画面 - 「検査器」タブ



[メニューバー] → [通信] → [データ読み出し] または
↓ 「設定データ読み出し」アイコンをクリックし、
検査器本体の設定を読み出します。
(ブザー音が鳴ります。)

● LCD表示パネル



● PC画面表示

アドレス	名称	荷重設定値	最大荷重値	検査回数	作業者
1	PT01	1	12	0	

読み出しが全て完了すると、画面に検査データが表示されます。

出力操作

測定値表示 検査器

ファイル名 _____

データ取得日時 2016/08/02 9:25:12

型式 APC-5 検査器名称 APC-05 表クリア

検査場所 _____

単位 KN 製造番号 2101309 - 1701

アドレス	名称	荷重設定値	最大荷重値	検査回数	作業者
1	PT01	1	12	0	

アドレス	アドレスNo	測定値	検査確認日時	メモリー数
1	PT01	0.02	2016/08/02 05:23:56	11
1	PT01	0.09	2016/08/02 09:24:07	12
1	PT01	0.60	2016/08/02 09:23:08	13
1	PT01	1.08	2016/08/02 09:23:40	14
1	PT01	1.20	2016/08/02 09:23:42	15
1	PT01	1.14	2016/08/02 09:23:44	16
1	PT01	0.97	2016/08/02 09:23:45	17
1	PT01	0.93	2016/08/02 09:23:46	18
1	PT01	1.26	2016/08/02 09:23:49	19
1	PT01	0.95	2016/08/02 09:23:50	20
1	PT01	1.07	2016/08/02 09:23:53	21

「表クリア」ボタンをクリックすると、表示中の検査データがクリアされます。
(検査器本体の検査データは残ります。)


4-4) メモリデータ消去

[メニューバー] → [通信] → [メモリ消去] または


✗ 「メモリ消去」アイコンをクリックし、
検査器本体に保存されている検査データを全削除します。
(ブザー音が鳴ります。)

※クリック後、即時にデータは消去されますので、ご注意ください。


4-5) 検査データの保存

[メニューバー] → [ファイル] → [保存] または
 「名前を付けて保存」アイコンをクリックし、
 任意のファイル名にて保存してください。(拡張子:「. dat」)

4-6) 保存データの呼出し

[メニューバー] → [ファイル] → [開く] または
 「開く」アイコンをクリックし、
 4-5)にて保存した検査データを開きます。(拡張子:「. dat」)

4-7) EXCELデータ転送

[メニューバー] → [ファイル] → [EXCELに転送] または
 「EXCELデータ転送」アイコンをクリックし、
 出力画面に読み込まれた検査データをEXCELデータに転送します。

データ転送中は、PC画面にプログレスバーが表示されます。



EXCELファイルが作成されますので、任意の名前を付けて保存してください。

No.	ファイル名	検査項目	検査値	検査日	検査日時	検査結果
1	PT01		1.07	良	2014/8/9 20:58	
2	PT01		1.00	良	2014/8/9 20:59	
3	PT01		1.11	良	2014/8/9 20:58	
4	PT01		1.02	良	2014/8/9 20:58	
5	PT01		1.06	良	2014/8/9 20:58	
6	PT01		1	良	2014/8/9 20:59	
7	PT01		0.53	否	2014/8/9 20:58	
8	PT01		1.03	良	2014/8/9 20:58	
9	PT01		1.07	良	2014/8/9 20:58	
10	PT01		0.50	否	2014/8/9 20:59	
11	PT01		1.1	良	2014/8/9 20:58	
12	PT01		0.37	否	2014/8/9 20:58	
13	PT01		1.04	良	2014/8/9 20:58	
14	PT01		1.02	良	2014/8/9 20:58	
15	PT01		1.04	良	2014/8/9 20:58	
16	PT01		0.57	否	2014/8/9 21:04	
17	PT01		0.1	否	2014/8/9 21:06	
18	PT01		0.11	否	2014/8/9 21:06	
19	PT01		1.02	良	2014/8/9 21:05	
20	PT01		0.41	否	2014/8/9 21:05	
21	PT01		1.32	良	2014/8/9 21:08	
22	PT01		0.5	否	2014/8/9 21:10	

X. 充電及び電池

1. 充電方法

● 充電用ACアダプター

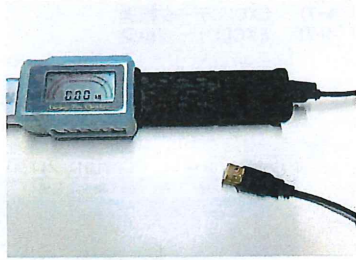
充電用ジャックにミニUSB端子を接続し、付属品の専用充電アダプターにUSB端子を接続して、充電を行ってください。
その時、充電アダプターがコンセントに接続されていることをご確認ください。

● USBバスパワー

充電用ジャックにミニUSB端子を接続し、PCのUSBポートにUSB端子を接続してください。

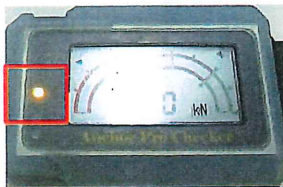


充電用ACアダプター



USBバスパワー

- ① 電源がON、OFFいずれの状態でも、充電は可能です。
- ② 正しく充電を行っている場合は、表示パネル部のLEDが黄色に点灯します。
- ③ お買い上げいただいた時の充電時間は約3時間で完了します。
- ④ 正しく充電が完了した場合、表示パネル部のLEDが消灯します。



充電時: LED黄色点灯



充電完了時: LED消灯

※ 納入時、バッテリーは放電状態になっている場合がございます。
付属の充電器にて充電してからご使用ください。

⚠ 警告

- a) 付属の充電器以外は絶対にご使用にならないでください。
- b) 充電器の電源は必ず、記載してある電源電圧でご使用ください。
- c) 充電は0°Cから40°Cの場所で充電を行ってください。
- d) 充電コードを差し込んだまま使用しないでください。
事故やけがの原因となります。

2. リチウム電池の寿命

リチウム電池B-APC-01電池パックは、ご使用条件により異なりますが約500回の充電が可能です。



警告

- a) リチウム電池B-APC-01電池パック以外の電池は、絶対に使用しないでください。
- b) 本機器内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

3. スリープ機能・オートパワーオフ機能・充電推奨の警告

①スリープ機能

約5・10・30・60分間のいずれか選択された時間、作業ならびにボタン操作を一度も行なわなかった場合は、自動的にスリープ状態(省電力状態)にします。

②オートパワーオフ機能

スリープ状態で約1・4・8時間のいずれか選択された時間、作業ならびにボタン操作を一度も行なわなかった場合は、自動的に電源をOFF状態にします。

③充電時期の奨励及び警告

充電時期の奨励として、電池切れ約2時間前よりLCD表示画面にマークが表示され、点滅します。電池切れ直前には連続警告音後、自動的に電源をOFF状態にします。

充電完了後、保持しているデータをお手持ちのパソコンへ転送し、保存を行ってください。

電池残量が不足すると、規定電圧を確保できなくなり、測定データが初期化されます。

※ 万一、ご使用中に異臭や異常発熱に気がついたときはご使用中を中断して安全な場所に移動し、直ちに販売店または㈱トラストまでご連絡ください。

4. 使用済みリチウムイオン電池について



Li-ion

このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

本製品は、リチウムイオン電池を使用しております。
貴重な資源を守る為に、リサイクルにご協力下さい。
交換及び廃棄の必要がある場合には、販売店または㈱トラストまでご連絡ください。

Anchor Pro Checker 取扱説明書

●お問い合わせ 株式会社トラスト

製造・販売元 大阪府茨木市五日市緑町5番32号

〒567-0029

TEL:072-621-4164

FAX:072-621-4166

URL:<http://www.trust-gr.com>

E-mail:otoiawase@trust-gr.com



<http://www.trust-gr.com>

